

# Chot★Better

# らいふすてーじ

MAGAZINE FOR CAMPUSMATES

OCT 2007

京大2大冊子である、Chot★Betterとらいふすてーじ。今回は両誌の編集長に本音で語っていただきました。

(タディ)

## 自己紹介

—それではまず、自己紹介をお願いします。  
大澤豪 (以下、大)：らいふすてーじ第23代編集長の大澤豪です。工学部2回生です。  
宇野真弘 (以下、宇)：Chot★Better編集長の総合人間学部1回生の宇野真弘です。僕は第3代の編集長です。  
—お互いの冊子の紹介をお願いします。  
大：生協の機関誌として、情報と娯楽を発信しています。毎月7500部を基本として、



大澤 豪 GO Osawa

らいふすてーじ第23代編集長  
工学部2回生 静岡県出身  
好きな雑誌：L magazine

生協の店舗で配布しています。特集記事と全部で10種類の定番記事があります。

宇：Chot★Betterは創刊3年目で、京大に限らず精華大や同志社女子大などいろいろな大学から部員が集まっている、所謂インカレサークルです。らいふすてーじとは違って、定番コンテンツはまだ充実していません。Chot★Betterの各号の冒頭数ページはいわば特集ページでして、テーマを毎回の会議で決定しています。

—テーマの決め方は？

宇：ホントに自由に。自分達がやりたいことを列挙して行って、その中で具体性・予算の問題からテーマをしばり、コンテンツ部門が作成しています。

大：うちは一人ひとりが自分の書きたい記事を練っていくので、全員でテーマをまとめ上げようとするのはちょっと新しく感じます。

—そういえば、4月号の「調子に乗るなよ!? 新入生!!」というキャッチコピーは大変目を引きましたね。

宇：自分が入学して初めて見た号ですからね。一読者としてインパクトを受けました。あと、定番記事として「がくしょくどう<sup>※1</sup>」というコーナーがあるのですが、カラーの強みを最大限に活かせるページだと考えています。

大：「がくしょくどう」のページは美味しそうですね。私達もパフェの特集を組んだのですが、やはり読者の方からカラーにしてくれ、とたくさんご指摘をいただきました。

## 冊子に関する本音

—それでは、相手の冊子について思うことをお聞かせください。

大：まずカラフル！センスがいいと思います。

宇：ありがとうございます。

大：学生が作っている冊子という感じがして、なんていうか、敷居が高くないと思う。コンテンツの面で言えば、各号に特別なテーマがあるので、とてもわかりやすいですね。

—好きな記事はありますか。

大：やっぱり、「京都大学物語<sup>※2</sup>」です。

—一番最初に読みますね(笑)。巻末漫画はどの様に製作しているのですか？



宇野真弘 MASAHIRO Uno

Chot★Better第3代編集長  
総合人間学部1回生 岐阜県出身  
好きな雑誌：CREW, SCRAP

はみだし  
すてーじ

1週間ぐらい風邪をひく予定なんですけど……。  
⇒ふむふむ、それで？

(工・4 オニオン)  
(⇒：編)

宇：漫画を描くときのように、コマ割やラフ画を作ってから製作しています。その他にも現場監督・カメラマン・役者などたくさんの方の協力からできています。

大：一番労力を使ってらっしゃるのでは？

宇：そうですね（笑）。

—宇野さんはどうですか？

宇：僕が入学して最初に見た冊子がらいふすてーじでした。京大生の生活に直結した、読み応えのある冊子だと思いました。

—読み応えの点でChot★Betterと違うと。

宇：そうですね。あと、京大生って意外と自分の周りのことに気づいていないから、らいふすてーじを読むといろいろなことがわかると思います。記事で言うと、SHOP INTRODUCTIONとかChot★Betterと似ている記事は気になりますね。個人的には京大付近、特に生活圏の情報を紹介した記事が好きですね。

—なるほど。一執筆者として参考にした

い意見ですね。それでは、お互いがお互いの編集部に行ったらどんな記事を書きたいですか？

大：はっちゃけてみたいです。何より、らいふすてーじとは違う条件で記事を書いてみたい。

宇：漫画にも出演してみますか？

大：是非。別の自分を表現してみたいですね（笑）。

宇：僕はやはり、一番気楽に読めるはみだしすてーじを書いてみたいです。

大：読者に一番人気のページですからね。ただ、なかなか答えやすい投稿を探すのは難しいんですよ（笑）。

宇：なるほど。そういえば、らいふすてーじの冊子サイズ<sup>※3</sup>って珍しいですよ。

大：ずっと昔からこうなんです。ただ、内容は昔から変わってきていて、例えば今はギャグページの十人十色が「ゴミ問題について」などの意見投書箱だったり（笑）。



宇：20年も続くと同じ冊子でもだいぶ違いますね。

大：時代の変化が見えて楽しいですよ。これからも、時代と一緒に冊子も変わっていききたいですね。

## 編集長として、執筆者として

—では編集長としてのお二人にお聞きします。これからのビジョンは？

大：初めてらいふを見た時「古臭いな」、と思ったんですよ。だからこれを変えたいと思いました。

—歴史にとらわれずに、ということですね。宇野さんはどうですか？

宇：やっぱりカラーという強みを生かして、Chot★Betterのコンセプトである、「読んで楽しい」を体現していきたいですね。ですが、まだまだ生まれたばかりの冊子なので、まずは組織を確立することが自分の役割だと思っています。

—一執筆者としては、これからどんな記事を書きたいですか？

宇：自分のスキルを上げたいですね。そして、もっと京大生の生活に密着した記事を書きたいです。

大：地図が大好きなので、便利な、面白い、と直感的にわかる記事が書きたいですね。ただ、書きたい記事はどんどんでてくるのですが、実現性を考えると尻込みしてしまう（笑）。

宇：それは取材が難しいとかそういう意味でですか？

大：アイデアをまとめることはできるのですが、これ面白いのかな、とか思っているうちにアイデアがしぼんでしまう（笑）。

—宇野さんは具体的に書きたいテーマ・内容等がありますか？

宇：うーん……具体的にと言われると難しいですね。ただ、読者が紙面を見たときの入りやすさって大事なことだと思うので、キャッチコピーの大切さを再認識していきたい。

大：まず読もうかな、と思わせることが大切ですよ。

宇：目を引くキャッチコピーを作って、特集を充実させたいですね。

## 編注

※1 生協店舗のメニューを紹介したChot★Betterの記事のこと

※2 Chot★Better巻末の実写漫画のこと

※3 らいふすてーじのサイズは縦B5横A4サイズである

## 読者のみなさんへ

—それでは最後になりましたが、京大生の読者の方に一言お願いします。

大：まず、いつも読んでいただきありがとうございます。歴史もあるけど、これからは読者のみなさんの声を生かして新しい冊子作りをしていきたいので、らいふすてーじを改めてよろしくをお願いします。

宇：Chot★Betterはその名前の通り、学生生活にちょっとお得な情報を与えられる冊子、ということを軸にしています。だから、その点を充実させて、らいふすてーじと並ぶようないい冊子にしていきたいと考えています。読者のみなさん、これからはよろしくをお願いします。

—これからもお互いに刺激し合ういい関係を築いていくことを期待しています。

大：京大といえばChot★Betterとらいふすてーじ、とすぐに思い浮かべていただけるようにしたいですね。

宇：そのためにも、まずは読者数を増やしたいですね。みなさん、折角なので手に取ってください、無料です（笑）。

大：無料ですからね（笑）。

—ありがとうございました。



はみだし  
すてーじ

お察しください。  
⇒2人とも、テストまでには帰ってきてください。

(理・1 御田嶽)  
(わかったわかった；編)